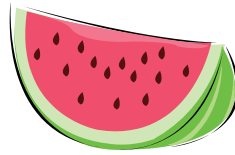


お客様と共に歩んで62年

## さぶちゃん通信 Vol.18

NL.2013年夏号



ミッション: 東讃地域の文化的な生活創りをお手伝い  
 発行: 株式会社マツシタ 代表取締役 松下三郎  
 〒769-2701 香川県東かがわ市湊815-17  
<http://www.tenka.biz/>  
<http://www.shikoku.ne.jp/matsushita/index.html>  
 電話番号 0879-25-0118 FAX番号 0879-25-1343  
 メール: saburo@shikoku.ne.jp

## ●石段をよじ登る小さな人

**石**段を必死によじ登る小さな人がいます。

とても小さな人で体長20cmほどです。

この姿はとても凛々しく、感動さえ覚えます。



この石段、和歌山城の石段で天守閣に向かう裏道にあります。

実はこの**小人は木の根っこ**で、和歌山城の広大な森の木の根っこが石段の隙間からはみ出しているようです。それにしても勇ましい立派な小人に見えます。

お城の人に聞くと、この木の根っこの小人、かつてテレビに出たこともある人気者のようです。

この広大な森はすごいもので、近くの石段に腰を掛けているとリスが数匹私に向かって木か



ら降りてきてびっくりしました。手を差し伸べると逃げます。

しばらくすると今度は10匹近く寄ってきて何とか写真を撮ることができました。後でお城の人が言うには、この森に30年ほど前から棲みついているらしく、台湾リスのようです。25センチほどのリスもいました。この森、ムササビも棲んでいるらしく、町の真ん中とはいえとても癒される場所です。

和歌山城は和歌山を代表する観光地の一つです。

戦国末期～江戸期の城で豊臣秀吉の弟の秀長（ひでなが）が築いたものでまたの名を虎伏城ともいいます。以後、徳川御三家（ごさんけ）の一つとして世襲し、紀州藩徳川家の居城となりました。

本丸の天守閣はもともと国宝でしたが、1945年（昭和20）の戦災で焼失し、現在は国の史跡に指



定されています。

松下三郎

# 文具の魔力

ビートたけしこと、あの北野たけし監督が、ある文房具店で価格を一桁間違えて、高級ボールペンを買ってしまったという話があります。22万円と8万円のボールペンを買ったそうです。本人は2万2千円と8千円の商品と思って…

信じられない話です。北野たけしさん、ずいぶん落ち込んでしまったようですが、「このペンで台本を書いて100万稼いでやる」と付き人の芸人に語ったそうです。北野たけしさんのすごさには驚かされます。

すぐ脚本を完成させたそうです。

その映画が【アウトレージ】だったらしいという情報が…

自分のモチベーションを高めるために、北野たけしさん、このたびは文具を利用したようです。世界に誇れる北野たけし監督、やはり考えることが違います。

日本が世界に誇れるものの中に文房具があります。

日本の文房具はいまだ着実に進化しています。

消せるペンやスマートフォ



【シャープの初代シャープペン】



【ハッピーペン】

ンで読み取り、デジタル化できるノートやマーカーなど文具メーカーが試行錯誤の研究によって新製品を開発しています。

その新製品の中で最近目立ってきているのが、復刻版の登場です。

家電メーカー“シャープ”の創業者である早川徳次氏が製作した日本発のシャープペンシルが登場してきました。

シャープペンしかもともとシャープが作ったもの。だからシャープペンと言います。ご存知でしたか？

【早川式くりだしえんぴつ】とも言います。

シャープも家電業界で現在少々業績に苦しんでいますが、必ずや何かを生み出すでしょう。

「…ハッピーペン」と言っても有名になった大橋巨泉のCM。パイロット万年筆“エリート”が再現しました。

今年の人気はトンボ鉛筆の100周年記念で限定発売した“初代トンボ鉛筆”など次々と登場しています。

レトロ感を新しく感じたり、懐かしさを感じたりと一人一人の環境や時代によって文房具の思い出が違った形で存在しています。ぜひ文房具を大切にしてください。



【初代トンボ鉛筆】

文遊館 店長 松浦玉江

三村店長一口メモ

## 金封の書き方とマナー

のし袋などの表書きに「寸志」と書く人を多く見かけます。

しかし、「寸志」は危険です。

のし袋 表書きの「寸志」は、「一寸ですが…」 「ほんの少しの気持ちですが…」 という意味で、自ら贈り物をへりくだってという言葉です。さらに、「寸志」は目下の人にのみに使用します。お世話になった目下の人に有難うという気持ちを込めて渡すものです。

「寸志」は目下の人に対する お礼・心づけ の時の表現であることを覚えていてください。「寸志」は目上の人に使うと失礼になってしまう言葉なのです。お客様や目上・年上の方に何か差し上げる場合は、「薄謝」

「御礼」という言葉を使いましょう。

もっと奥ゆかしい言い方としては「松の葉」です。松の葉にも隠れるほどのほんの気持ち… という意味です。

『寸志』は便利な言葉なのですが、なんでも「寸志」を使うのはとても危険なのです。

逆に「寸志」に対してのお礼は「ご厚志ありがとうございます」「お志に感謝いたします」「ご厚意頂き大変恐縮です」「ご芳志ありがとうございます」です。

いずれも相手の思いやりの気持ちに対して感謝する意味の言葉です。

のし袋の表書きの書き方は、日本の伝統文化です。

日本の言葉は本当に奥が深く難しいものですね。



三本松小売部店長三村

## パソコン教室便利

インターネットは危険がいっぱい??フィッシング詐欺について知っておきましょう。



「インターネットは怖い」そんな言葉を一度は聞いたことがあると思います。最近のニュースでもIDやパスワードが何百万人分も流出した、という事件がありました。インターネットオークションやショッピングは便利だとは思いますが、と聞いたので迷っています。という声もよく聞きます。



インターネットとはいえ、人が関わっています。ということは現実社会と同じで詐欺などを考える悪い人たちもいることを知っておきましょう。まずは、どのような手口があるのかを知っておく必要があります。今回は『フィッシング詐欺』についてです。

### ■インターネットに潜む危険

#### その1. フィッシング詐欺

金融機関など大手ホームページの画面を真似た偽画面を作り、そこにIDとパスワードを入力させて、IDとパスワードを盗む手口です。

たとえば、ある日いつも利用している銀行からメールが届きました。「口座のシステムを改

善したので、顧客情報の確認が必要になりました。こちらから確認してください」という内容で、メールに書かれたリンクをクリックするといつものログイン画面が表示されました。

いつもの画面だから、とついIDとパスワードを入れてログインすると・・・それが悪者の手にわたり、銀行口座を不正に利用されてしまう。というわけです。

このように、信用のあるホームページからのメールを装って偽画面へ誘導しますし、偽画面もよほど注意して見ないと偽画面だとは分からないように作ってあります。

では対処法は・・・

IDとパスワードを入力させるようなメールが来た場合はすぐに入力せず、まずは**メールを送ってきたところへ確認しましょう**。その際、送られてきたメールに返信したりメールに書かれたリンクはクリックせず、**直接そのホームページへ行ってから問い合わせます**。

今よく話題にのぼっている詐欺の手口ですので、気を付けましょう。

## 国語教室便利

### ー夏休みの「読書感想文」、書けているかな?ー

「国語教室」では、読書をするだけでなく、作文のお手伝いもしています。

特に、夏休みの宿題「読書感想文」は、書くのが大変で、どうしたらいいのかこまっていますか!?

そこで、教室で行っている読書感想文を書くコツをご紹介します(^-^)

1. 何度も読み返す(最低でも2回~3回)
  2. あらすじをかく
  3. どこがおもしろかったのか
  4. なぜおもしろく思ったのか
  5. 自分ならどうするのか
  6. そこから学んだことやこれからどうしたいのか、またこの本は何を伝えたかったのか
- を考え、書いていきます。

でも、「え・・・2、3回も本を読むの・・・やだよ(-\_-;)」と思いませんか? (笑)

そうなんです。感想文って、1回本を読んだだけじゃあ、書けないんだなあ、残念だけど。

それに、いきなりていねいな字で、作文用紙に清書していっちゃだめだよ。

まずは、上の1~6のことをよく考えて、自分の考えを紙に書くことからスタートです。

書いた文章は何回も読み返してみてください!  
その本を読んだことがない人にもわかりやすい文章になっているか、気をつけてね!

さあ、ちょっとはコツがつかめたかな?  
書くのが苦手だった子も、「国語教室」で読書感想文を書いて学校代表に選ばれた子もいるから、大丈夫♪

でも、やっぱり難しいな・・・と思ったら、「国語教室」で一緒に作文を書いてみませんか?

**がんばって、早く宿題をすませて、楽しい夏休みを過ごしてくださいね♪**



# 味の探検隊

## Natural Hi(ナチュラルハイ) カフェレストラン

**昭**和を思い出すことができる素敵なカフェです。若い夫婦が経営していますが、よく



ここまで昭和にこだわったことに感心します。今の時代、素敵なカフェレストランが激減している中、貴重なスポットです。デートにも最適でしょう。

もともと、造田地域の米の蔵を改装したもので、外目にはカフェレストランとはとても判断できません。場所は長尾と志度を結ぶ街道沿いにあります。看板もなく、見落とししてしまいますので注意してください。

店内に入ると、昭和の時代にいっきよにタイムスリップします。

店内は裸電球で、とてもレトロで素敵なカフェです。

雑貨も展示されている関係か、子供さんは入店できません。(ベビーカーOK)

もともと、冷温倉庫の米蔵だったせい  
か、夏は涼しく、冬は暖かい建物のつくりのようです。二人だけで経営しているため、ランチの場合は予約をされることをおすすめします。



ランチはお肉とお魚の2種類から選べます。

この日のお魚のメニューは、

- ・鯛のソテー・おろし大根さっぱりソース
- ・なすの煮びたし
- ・十五穀米・オクラの胡麻和え
- ・サラダ・お味噌汁・ドリンクでした。

**850円**です。

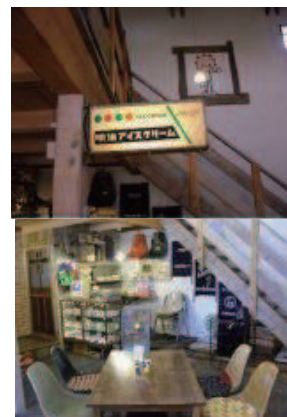
また、本日のケーキ、シフォンケーキなどすべて手作りのスイーツも楽しめます。



### Natural Hi(ナチュラルハイ)

**0879-52-1195**

さぬき市造田宮西969-5  
営業時間 11:00~17:00  
ラストオーダー16:00  
定休日 月曜日 第一日曜日



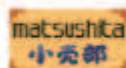
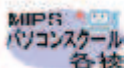
編集後記

暑いですね!  
無理をせず、油断なく  
毎日とお過ごし下さい。  
松下三郎



代表取締役 松下三郎

ミッション:東讃地域の文化的な生活創りをお手伝い  
発行;株式会社マツシタ 代表取締役 松下三郎  
〒769-2701 香川県東かがわ市湊815-17  
<http://www.tenka.biz/>  
<http://www.shikoku.ne.jp/matsushita/>  
電話番号 0879-25-0118  
FAX番号 0879-25-1343  
メール:saburo@shikoku.ne.jp



本社